

# 夕刊三重

## 元気で躍進 地域経済

環境配慮の地盤改良  
前年度より37%増加

エコジオ工法協会

松阪市飯高町宮前の株式会社尾鍋組(尾鍋哲也社長)と三重大学が共同開発した環境に優しい地盤改良技術「エコジオ工法」の施工代理店などをつくるエコジオ工法協会(尾鍋哲也会長、48社)はこのほど、同市中央町のフレックスホテルで2019(令和元)年度通常総会を開いた。

エコジオ工法とは、一般的に地盤改良に使われるセメントやくいを一切使わず、自然素材の砕石を地中でくいのように円柱状に締め固める工法。地中に人工物を残さず、地球への環境負荷を低減することができる。



尾鍋会長と尾鍋組のあいさつをする  
＝中央町のフレックスホテルで

この日の総会には、工法を共同開発した三重大学大学院の酒井俊典教授や、全国の施工代理店など約40人が出席。前年度の事業報告と収支決算、新年度の事業計画と収支

予算、役員改選が行われ、いずれも原案通り承認された。

新年度事業では、今月6、7の両日に東京都江東区の東京ビッグサイトで開かれる住宅ビジネスフェア2019への出展や、7月26日に東京で研修会を開くことなどが決まった。総会以外の事業は、全国の会員が集まりやすい東京で行うことが多いという。

総会に続いては、エコジオ工法の施工実績に関する最新情報の報告会があり、協会事務局の濱口幸三地盤改良事業部長が

発表。18(平成30)年度中の年間施工件数は3899件、スタートした09(同21)年度からの累計では1万2814件となり、伸び率は前年度比137%だった。

尾鍋会長を除く新年度役員は次の皆さん。

- 【副会長】▼神谷修司(株サムシング)▼佐藤忠行(株アースシールド) 〓以上再任
- 【監事】▼志賀爲宏(志賀爲株) 〓新任
- 【顧問】▼酒井俊典(三重大学大学院)▼権藤吉彦(株三重ティールオー)▼神村真(合同会社for) 〓以上再任
- ▼川又良一 〓新任